

\*\* 2009年9月改訂 (第6版 販売名変更による改訂)

\* 2008年10月改訂

貯法：室温保存。開封後は湿気をさけること。  
使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。  
(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)

日本標準商品分類番号	872316
** 承認番号	22100AMX01725000
** 薬価収載	2009年9月
販売開始	1918年2月
再評価結果	1984年6月

## 乳酸菌整腸剤

(ラクトミン製剤)

# \*\* ビオフェルミン®配合散

BIOFERMIN® POWDER

### \*\*【組成・性状】

組成	1g中に次の成分を含有する。 ラクトミン……6mg 糖化菌……4mg 添加物として、バレイシヨデンプン、乳糖水和物、沈降炭酸カルシウム、白糖を含有する。
製剤の性状	白色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがあり、味はやや甘い。 分包品 識別コード：BF11

### 【効能・効果】

腸内菌叢の異常による諸症状の改善

### 【用法・用量】

通常、成人1日3～9gを3回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

<適用上の注意> 調製時：アミノフィリン、イソニアジドとの配合により着色することがあるので配合をさけることが望ましい。

### 【薬効薬理】

1. 本剤含有の乳酸菌を投与することにより、腸内菌による腐敗産物の産生が抑制される(ラット)<sup>1)</sup>。
2. 本剤を投与することにより、腸内有用菌であるビフィズス菌優位の腸内菌叢にみちびく(ラット)<sup>2)</sup>(ヒト)<sup>3)</sup>。
3. 本剤をヒトに投与した結果は次のとおりである<sup>3,4)</sup>。

(1) 健康人工栄養児では腸内の腸球菌が増加し、大腸菌が減少する。とくに下痢症患児ではこの傾向が著明である。

(2) 糞便のpH値は健康人工栄養児では軽度、下痢症患児では著明に低下することを認める。

### <作用機序>

本剤の乳酸菌は腸内で増殖し、乳酸等を産生して腸内菌叢の正常化をはかり、整腸作用をあらわす。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

#### (1) ラクトミン (Lactomin)

菌種：Streptococcus faecalis

性状：白色～わずかに黄褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。

#### (2) 糖化菌 (Amylolytic Bacillus)

菌種：Bacillus subtilis

性状：白色～わずかに灰褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。

### 【包装】

500g、1kg、5kg、1,800g (1g×1,800)

### 【主要文献】

- 1) 吉原一郎他：第37回日本栄養・食糧学会講演要旨集 (1983)
- 2) 勝又俊太郎：日本小児科学会誌, 58 (10) : 893 (1954)
- 3) 勝又俊太郎：日本小児科学会誌, 58 (10) : 899 (1954)
- 4) 勝又俊太郎：日本小児科学会誌, 58 (11) : 965 (1954)

### \*\*,\*【文献請求先】

ビオフェルミン製薬株式会社 学術情報グループ

〒653-0011 神戸市長田区三番町五丁目5番地 電話 (078)574-2360 FAX (078)577-3166

製造販売元 **ビオフェルミン製薬株式会社**  
〒651-2242 神戸市西区井吹台東町七丁目3番4

販売 **武田薬品工業株式会社**  
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号